
私の願い。

遠藤竜二

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の願い。

【コード】

N67290

【作者名】

遠藤竜二

【あらすじ】

特になし とか言いつつも書こうかなと思う自分がいたりな
かったり。

(前書き)

えーこの小説はフィクション1%。ノンフィクション99%で出来ております。

11月3日、改行など等により改稿。

。。。。
そういえば、君にまだ恩返しが出来てなかったな。。

そう、アレは何にも見えてなかったとき。

君は、僕に話しかけてくれた。

何故か？それは未だ知らない。

あの時僕は色々な事への興味を失っていた。

ヤンデレに好かれてしまい、受験に落ち。。。。

そんな僕に。

誰とも関わりたくないという空気を醸し出していた僕に。

君は話しかけてくれた。

僕の真つ暗な心象世界に。

光あれと。

そんな感じに話しかけてくれた君。

僕はそんな君に救われた。

いや君は僕が助かる手助けをしてくれた。

倒れていた僕を立たせてくれた。

光というものを見せてくれた。

ありがとう。

今度は俺が背負う番だ。

今度は俺が君の手助けをする番だ。

俺の手が及ぶ範囲に君がいてくれてよかった。

手が届くのに手を伸ばさずに後悔するのはもう止めだ。

だから俺はそれが偽善だと知っても。

偽善者と罵られようとも。

俺は君の苦しみを一緒に背負おう。

から。

何故ならそれが最も暖かく感じられた

から。

何故ならそれがとても心地よく思えた

だから俺は君に問おう。

『

』さあ、君の苦しみを数え

と。

F i n .

(後書き)

改めてありがとう。 さん。僕は君に救われたのだよ。
君は無意識にやったのだろうかね。

聖魔光闇さんご指摘ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6729o/>

私の願い。

2011年10月7日08時33分発行